

新たな「横浜市環境管理計画」とヨコハマbプランの関係について

■各計画の位置付け

(1) 新たな「横浜市環境管理計画」

新たな「横浜市環境管理計画」は、「横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例」に位置づけられている環境行政のマスタープランです。「環境行政を総合的に推進」、「市民に分かりやすく環境の状況を見せる」、「プロセス管理を基軸に据える」を計画の主な役割としています。

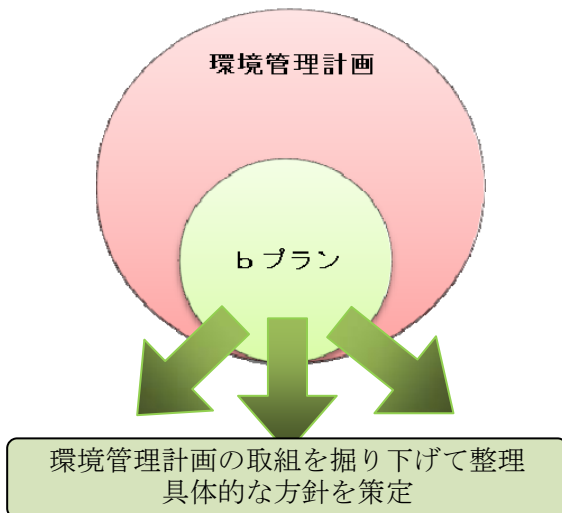
(2) ヨコハマbプラン（生物多様性横浜行動計画）

ヨコハマbプランは、生物多様性基本法で定める「生物多様性地域戦略」です。生物多様性の取組は、地球温暖化対策とともに横浜市環境行政の基軸として位置づけられており、さまざまな施策に生物多様性の観点を持って取り組むことを推進しています。

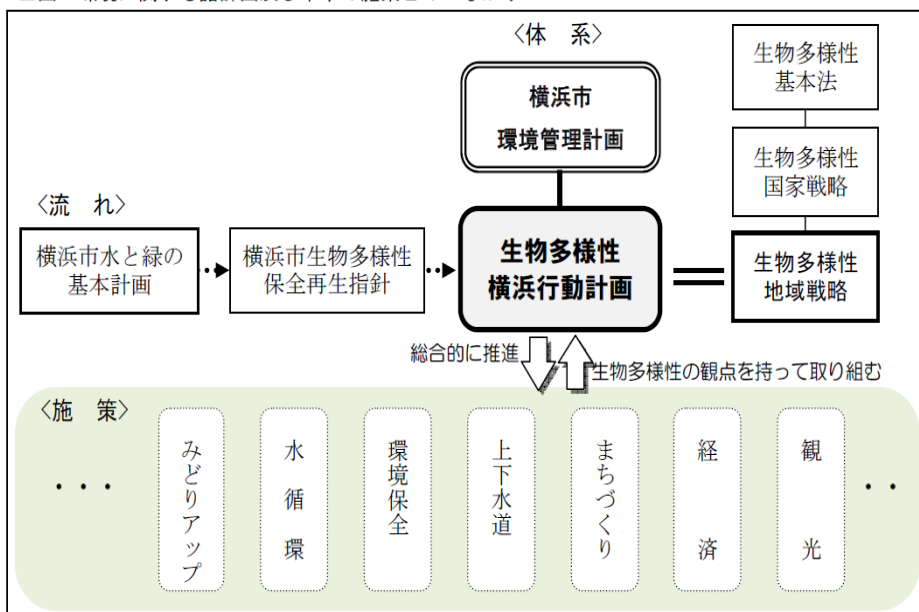
■環境管理計画とbプランの関係性

環境管理計画は環境行政のマスタープランとして環境分野の個別計画について総合的にプロセス管理を行います。そのため、bプランに規定された重点施策を含む多くの事業も、環境管理計画に記載されており、包括的に進捗状況の管理を行っています。

bプランは分野別の行動計画であり、環境管理計画にも位置づけられている取組をより掘り下げて整理するとともに、取組を進めていく背景や考え方を明確化するなど具体的な方針を定めています。



■図 環境に関する諸計画及び本市の施策とのつながり



ヨコハマbプラン
P5「2 行動計画の位置付け」